

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	みずほひじり保育園
活動日時	令和 7 年 4 月 18 日（金）
クラス名(年齢)	きりん組（ 4 歳児 ）

1、活動テーマ

<テーマ>

自然物を見つけよう(花びら)

<テーマの設定理由>

遊びの中で周りの自然物に興味をもたれ、特に桜の花を見る様になってきた時から春の花に関心を持ち始めたので、「春の花」から探求してみる。

2. 活動スケジュール

- ＊ 散歩時に春の花を見つけ、探して触れてみる。
- ＊ 触れて感じた事に対して興味、関心を広げていく。

3、活動のために準備した素材や道具、環境の設定

ケース、袋、すり鉢、擦り棒、筆、画用紙、ミラーレスカメラ

4、探究活動の実践

<活動内容>

公園に行って春の花探しをしてみた。個々に桜の花びらやがく、ツバキの花びらを拾い集めて触れて遊ぶ。咲いている物は使わずに、散って落ちている物を限定して、探してみるよう声をかけた。
触れていく中で花びらから色が抽出できないか、子ども達に投げかけてから、子どもの発する意見「水につける」「日に当てる」「すりつぶしてみる」等が出たので子ども達と一緒に取り組んでみた。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

① 「ここにいっぱい落ちている！」と花びらや真っ赤な桜のがくを見つけ、園内の花を拾い集めた。



② 持ち帰った物を種類に分けて、洗って水につけてみたが思ったような色が出ず、次は「太陽に当てて温めてみよう」と子どもからでた意見で試してみた。



③ 変化なく、次に「つぶしてみたい」と話し、すり鉢で擦ってみた。がくは固く、思うように擦れなかったが、色が変わってきてしまう様子が見れたことで子どもの興味が広がっていった。



④ すったもので描いてみる。「ザラザラする」とすりつぶしたカスも筆と一緒に描いてみた。色は茶色になってしまったが過程を楽しんだ。



5、振り返り

<振り返りによって得た保育士の気づき>

興味関心をもった、春の花の観察から、やりたいと思う事を考えてそれぞれ意見を出し合っていく中で、「~したらいいんじゃない」「~してみたい」と色んな言葉が出ていたので、意見を聞きながら出来るだけ試していけるようにして取り組んだ。一つ進んだら次はどうするか、子ども達で話し合えるよう仲介していき、結果は赤の色が出ずに、擦っていく度に茶色になってしまったが、子ども達はやり遂げた思いがあり楽しんでいる様子であった。描いた絵を嗅いで木の香りを楽しんでいた。想像したものと違ったようだが、友達と考え勧められた事は良かったと思う。過程を楽しめたので次は自然物を使って作る活動に繋がればと思う。